1．埋蔵文化財包蔵地

№	名称	種類	所在地	時代	主要な検出遺構	主要な出土遺物	地図
1	我堂南遺跡	集落跡	天美我堂2・3	古墳～中世			A4 A5
2	大和川今池遺跡	集落跡 社寺跡 古墳 生産遺跡	天美北1～8 天美我堂4～7	旧石器～中世	【古墳時代】竪穴住居、掘立柱建物、井戸 【飛鳥～鎌倉時代】水田、掘立柱建物、井戸	【旧石器時代】ナイフ形石器 【縄文時代】有舌尖頭器 【古墳時代】金銅製鈴、ヒスイ製勾玉、韓式系土器、埴輪 【古代～中世】「山上」墨書土器、白瓷、皿Ⅰ・Ⅱ、曲物、緑釉陶器、「和田門間除」銅銭、瓦	A2 A3 A4 B2 B3 B4
3	城連寺東遺跡	集落跡	天美北2	古墳～中世			C1 C2
4	城連寺遺跡	集落跡 社寺跡	天美北3・5	弥生～近世			B1 B2 C1 C2
5	池内遺跡	集落跡 その他の墓 生産遺跡	天美北1・6 天美東3・5	弥生～近世	【弥生時代】平地建物、掘立柱建物、水田 【古墳時代】方形周溝墓 【平安時代】掘立柱建物、土坑墓、井戸	【古墳時代】前期須文土器 【平安時代】「相撲部」墨書土器、硯、鉄製品、鞴羽口、曲物、緑釉陶器、輪宇瓦	B2 C2
6	天美東1丁目遺跡	集落跡	天美東1	中世			C3
7	堀遺跡	集落跡 生産遺跡	天美南4・5	古墳～近世	【古墳時代】掘立柱建物 【飛鳥時代】掘立柱建物、井戸 【奈良時代】掘立柱建物、水田、井戸 【中世】掘立柱建物、水田、畠	【古墳時代】滑石製紡錘車 【奈良時代】瓦、砥石	B3 B4 C3 C4
8	天美南遺跡	集落跡	天美南2	弥生～古墳			C3
9	高木遺跡	集落跡	北新町3～5 天美我堂5	弥生～近世	【弥生時代】竪穴住居、掘立柱建物 【奈良～平安時代】掘立柱建物、条里坪境大畦畔 【中世】掘立柱建物、井戸	【奈良～平安時代】海獣葡萄鏡、下駄、緑釉陶器 【中世】青白磁	B4 B5
10	清水遺跡	集落跡	北新町6 南新町5・6	古墳～中世	【古墳時代】掘立柱建物 【奈良時代】条里坪境溝		B5 C5
11	布忍遺跡	集落跡 社寺跡	北新町1・2 南新町1	弥生～近世	【平安時代】掘立柱建物 【鎌倉時代】井戸	【平安時代】瓦	B4 B5 C4 C5
12	鍵田遺跡	集落跡	南新町4	古墳			B6
13	南新町遺跡	集落跡	南新町2・3	縄文～中世	【古墳時代】竪穴住居 【飛鳥時代】掘立柱建物、道路側溝 【平安時代】掘立柱建物、井戸	【飛鳥時代】金銅製耳環、ヒスイ 【平安時代】「弓」墨書土器、斎串、石帯（丸鞆）	C5 C6
14	東新町遺跡	集落跡 その他の墓	東新町1～3 田井城6 天美南1	縄文～中世	【縄文～弥生時代】地圏掘跡 【弥生時代】掘立柱建物、井戸 【古墳時代】方形周溝墓 【飛鳥時代】道路側溝 【平安時代】掘立柱建物	【弥生時代】石庖丁、石鏃、弥生土器	C4 C5 D4 D5
15	河合遺跡 宮衙跡	集落跡 官衙跡	河合1～6	弥生～近世	【飛鳥時代】掘立柱建物　井戸 【奈良時代】大型掘立柱建物群、井戸 【鎌倉時代】墨、井戸	【飛鳥時代】銅製鋲、丹比廃寺式軒丸瓦 【奈良時代】曲物、斎串、瓦、墨書土器 【鎌倉時代】墨、青白磁	C6 C7 D6 D7
16	高見の里遺跡	集落跡	高見の里1～6	縄文～近世	【平安～鎌倉時代】掘立柱建物　井戸	【弥生時代】磨製石剣 【古墳時代】鉄斧 【平安～鎌倉時代】桝、曲物、青白磁	D5 D6
17	三宅西遺跡 その他の墓 生産遺跡	集落跡 その他の墓 生産遺跡	三宅西5～7 三宅中7	縄文～中世	【弥生時代】竪穴住居、方形周溝墓 【古墳時代】水利施設	【縄文時代】後期叶堂土器 【古墳時代】百済土器	D2
18	田池下遺跡	集落跡	三宅西2	古墳～中世			D3
19	三宅西4丁目遺跡	集落跡	三宅西4	弥生			D2
20	三宅遺跡	集落跡	三宅中1～8	弥生～近世	【平安時代】掘立柱建物、井戸 【中世】掘立柱建物	【平安時代】「□次□」墨書曲物片	D2～4 E2～4
21	三宅東遺跡	集落跡	三宅東6・7	古墳～中世			E2 F2
22	蔵重遺跡	集落跡	三宅東3・4 別所7	奈良～近世			E2 E3 F2 F3
23	阿保遺跡 官衙跡 生産遺跡	官衙跡 生産遺跡	阿保1～7	弥生～近世	【古墳時代】水田 【飛鳥時代】掘立柱建物 【奈良～平安時代】掘立柱建物 【中世】掘立柱建物、井戸	【奈良～平安時代】製塩土器、瓦 【中世】曲物	D4 D5 E4 E5
24	上田町遺跡	集落跡 生産遺跡	阿保1 上田1～7 柴垣1	旧石器～近世	【弥生時代】水田 【古墳時代】竪穴住居、井戸 【飛鳥時代】掘立柱建物 【奈良～平安時代】掘立柱建物、条里坪境大溝 【中世】掘立柱建物、井戸	【縄文時代】有舌尖頭器 【弥生時代】打製石剣、木製農具、小型紡錘車 【古墳時代】鞆、埴輪、韓式系土器 【奈良～平安時代】「神幼間寶」銅銭、滑石製臼玉	D5 D6 E5～7
25	新堂遺跡 古墳	集落跡 古墳	新堂1～4 高見の里5・6 柴垣1	旧石器～近世	【古墳時代】古墳、掘立柱建物、横穴 【平安～鎌倉時代】掘立柱建物、井戸	【縄文時代】石棒 【古墳時代】埴輪 【平安～鎌倉時代】「乾元大寶」銅銭	D6 D7 E6 E7
26	岡遺跡	集落跡 社寺跡 古墳 生産遺跡	柴垣1 岡2～5	旧石器～近世	【古墳時代】古墳 【平安～鎌倉時代】河内錦物師工房、掘立柱建物、井戸	【旧石器時代】ナイフ形石器 【古墳時代】埴輪 【平安～鎌倉時代】鋳型、鉄滓、石鹸、青白磁、瓦	E7 E8

2．寺院

№	名称	所在地	宗派	概要	地図
1	善正寺	天美我堂7	浄土真宗（東）	大阪市平野区にあった真言宗・金剛乗院が、室町時代・明応年間（1492～1500）に改宗し現在の最勝寺の地に移転し、浄蓮寺と称する。安土桃山時代・文禄2年（1593）豊臣秀吉の時に「善正寺」と改号。その後、江戸時代・元和2年（1616）に砂村へ移り、寛永18年（1641）に現在の地に移った。	A4
2	安樂寺	天美西2	浄土真宗（東）	江戸時代・延宝7年（1679）に僧侶静が創建したと伝えられる。	B2
3	施福寺	天美西3	浄土真宗（東）	創建時期は不明。薬師地蔵堂の薬師如来・日光菩薩・月光菩薩の三尊は、元は薬師堂（寺院No.57）のもので、元和元年（1615）大坂夏の陣で薬師堂が焼失したため祀ったと伝える。	B2
4	最勝寺	天美北5	浄土真宗（東）	善正寺が砂村へ移った後に残った寺院で、江戸時代・寛永12年（1635）に現寺号に改称。境内には、昭和の初頃まで若者たちが力試しに使った4個の力石がある。	B2
5	安明寺	天美北5		南北朝時代・元中年間（1384～1392）に、楠木氏一族の和田正綱（正遠）の家臣・城連寺宗明が創建したと伝える。江戸時代・宝永元年（1704）の大和川付け替えで寺地は失われ、嘉永年間（1848～1853）に、現勝寺地に小堂を設け移転した。	B2
6	敬恩寺	天美東8	浄土真宗（西）	室町時代・永正11年（1514）に真宗宗から改宗したと伝えられる。明治6年（1873）に89番小学が開かれ、明治8年（1875）に南内小学校（現天美小学校）へと校名を変更した。	B3
7	真正寺	天美南4	浄土真宗（東）	江戸時代・寛文2年（1662）僧法雄の創建とされるが、寛文9年（1669）に僧法雄が創建したとも言われる。	B4
8	大林寺	北新町1	融通念仏宗	当地には元来「念仏寺」と呼ばる寺院があったと伝えられている。そのため、明治11年（1878）に現堺市美原区大饗に所在した廃寺・大林寺を当地に移転した。明治に廃寺となった永興寺の本尊・十一面観音立像等を安置している。同内宮国寺三浄所の札所。 【市指定有形文化財】十一面観音立像（平安時代後期）　平成21年（2009）2月3日指定	B4
9	布忍寺（東之坊）	北新町3	真言宗	古墳時代・用明天皇2年（587）に聖徳太子が創建したと伝える。平安時代に創建された布忍寺（永興寺）の塔頭の名残りとも考えられている。	B4
10	圓成寺	北新町5	浄土真宗（西）	黙道場より発祥したと思われる。	B4
11	教通寺	南新町1	浄土真宗（西）	黙道場より発祥したと思われる。江戸時代に、現堺市美原区黒山に移築されたものである。	C5
12	多聞院	南新町1	単立	平安時代・寛治3年（1089）に永興禅師が創建し、堀河天皇勅願の多聞天を安置していたと伝える。江戸時代・寛政8年に（1796）5代住職龍岳が作った更衣柱黙道が現在の黒山の新町図書館前に移築されている。	C5
13	稱名寺	南新町2	浄土真宗（西）	黙道場より発祥したと思われ、江戸時代・寛享4年（1687）に現寺号となったと伝える。	C6
14	浄林寺	南新町5	黄檗宗	元は真言宗で、江戸時代・元禄11年（1698）に僧臨元が改宗。その後、寺運が衰えるが享保2年（1717）に僧慧鶴と僧龍統により再興された。浄林寺本堂正面には慧鶴筆の「浄林寺」扁額が掲げられている。	B5
15	宝泉寺	南新町6	融通念仏宗	鎌倉時代・元亨3年（1323）に、法琳上人の念仏勧進道場として創建したと伝える。	B5
16	浄信寺	東新町5	浄土真宗（東）	黙道場より発祥したと思われる。かつて本堂に掛かっていた文政2年（1819）年銘の瓦が残る。	C6
17	稱念寺	河合3	浄土真宗（東）	鎌倉時代・弘安6年（1283）に、摂津源氏の祖である源満仲の家臣・多田仲光の末裔により創建されたと伝える。	D7
18	敬念寺	高見の里3	浄土真宗（東）	室町時代・天文元年（1532）の創建と伝える。江戸時代・延宝年間（1673～1680）に現寺号を与えられた。本堂には正徳3年（1713）再建の棟札が残り、太鼓楼には明治12年（1879）再建の棟札が残る。	D5
19	善宗寺	田井城5	日蓮宗	室町時代・文明8年（1476）に現在の大阪市中央区谷町9丁目に創建された寺院で、田井城の信徒達の希望により明治29年（1896）に現在の地に移転した。	D4
20	陽雲寺	田井城5	浄土真宗（東）	飛鳥時代・舒明天皇13年（641）創建の宮寺で天台宗より改宗したと伝える。本堂は室町時代・明応7年（1498）年棟札智の建立とされる。本堂に江戸時代・天保12年（1841）再建の棟札が残り、太鼓楼に文化元年（1804）の棟札が残る。	D4
21	西方寺	三宅中5	融通念仏宗	鎌倉時代・元亨年間（1321～1323）に、法琳上人の念仏勧進道場として創建したと伝える。 昭和50年代までは河内西国三十三所の札所であった。	D3
22	善長寺	三宅中5	浄土真宗（東）	室町時代・文明元年（1469）に僧武静が創建したと伝える。江戸時代に三宅村の庵口善左衛門と大槻長右衛門が建立したとからこの頃文字をとって寺号とした伝えられる。	E3
23	願久寺	三宅中5	浄土真宗（東）	元は天台宗で、戦国時代・永正11年（1514）に僧伊琢により中興し、改宗したと伝える。 明治7年（1874）に善長寺とともに三宅学校（現三宅小学校）が開かれた。	E3
24	玉應寺	三宅中5	浄土真宗（東）	室町時代・明応元年（1492）に僧正信が創建したと伝える。	D3
25	西徳寺	阿保5	浄土真宗（東）	室町時代・永正3年（1506）の創建と伝える。	E4
26	安養寺	阿保6	浄土真宗（東）	江戸時代・寛文12年（1672）の創建と伝える。	E4
27	願正寺	上田7	浄土真宗（東）	元は真言宗で、江戸時代・寛永年間（1624～1643）に中興したと伝える。本堂には宝永2年（1705）と文政4年（1821）の棟札が残る。明治7年（1874）には松原小学校が開かれた。	E6
28	良念寺	新堂3	浄土真宗（東）	室町時代・永正12年（1515）に本願寺より本尊を下付されたことから、この頃の創建と思われる。	E7
29	浄光寺	新堂3	融通念仏宗	鎌倉時代・元亨2年（1322）に法琳の念仏勧進道場として創建したと伝える。室町時代・永正元年（1504）に僧天し、江戸時代・明暦元年（1655）に僧侶休が再建した。	E7
30	泉福寺	岡5	浄土真宗（東）	室町時代・弘治元年（1555）に僧顕法が創建したと伝える。山門前の地蔵堂による3体の石仏は毎年の地蔵盆に本堂に移される。その内1体には江戸時代・正徳3年（1713）銘がある。	E8
31	圓正寺	岡5	浄土真宗（東）	用明天皇治世（586～587）の創建と伝えられる。元は丹北郡大饗にあり「小丸山御願寺」と号していたが廃絶。江戸時代・寛永年間（1624～43）に僧正善が現在の地に再興したと伝える。	E8
32	来迎寺	丹南3	融通念仏宗	天平年間（729～748）の創建と伝える。鎌倉時代・正和年間（1312～1316）法明上人により中興し、江戸時代・元和9年（1623）には、高木氏が陣場に丹南藩の陣屋を構え菩提寺として再興。正保年間（1644～1647）から僧融道により、中本山格六浄興の一つとして栄えた。寺の墓地には丹南藩主の石碑塔が残る。本堂には永正2年（1653）、元文2年（1732）、明治33年（1900）の棟札が残る。 【府指定天然記念物】いぶき　昭和56年（1981）6月1日指定	E8
33	栄久寺	立部1	浄土真宗（東）	元は「観音寺」という真言宗系寺院で、室町時代・明応年間（1492～1500）に改宗・改号したと伝える。 安土桃山時代・天正8年（1580）に石山合戦が本願寺より8月に和議し、以降、本願寺派となった。 江戸時代・寛永年間（1624～1643）の創建と伝える。 現在は、本堂・庫裏・鐘楼・山門・鎮守社・墓地・庭園・池・水路・井戸・畑・田・山林・竹林・雑木林